

2017年度レスポンシブル・ケア活動の重点項目と実績

達成度：達成A 未達B

区分	重点項目	実績	達成度
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 法的要件事項等の遵守 ● 環境事故ゼロ ● 環境負荷低減目標の達成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 法的要件事項等の遵守を徹底 市協定値超過 2 件 ● 環境事故ゼロを継続 ● 環境負荷物質排出削減・維持 ● エネルギー消費原単位の削減 ● ゼロエミッション率 99% 維持 	B A A A A
保安防災 労働安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> ● 法令違反ゼロ ● 無事故・無災害 ● 休業率の低減 	<ul style="list-style-type: none"> ● 法令違反ゼロ ● 事故 2 件（漏えい） ● 従業員 不休災害 4 件 協力会 休業災害 2 件、不休災害 4 件 ● 保安管理レベルの向上 ● リスク管理・危機管理の推進 ● 心とからだの健康づくりの推進 	A B B B A A
化学品安全	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品の安全性確保 	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品審査・表示審査の実施 ● SDS 管理の高度化 ● JIPS*への積極的参加 ● 海外の化学品規制への対応 	A A A A
地域・社会との信頼関係	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動への参加 ● 地域社会との共生 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のボランティア活動への参加 ● RC 地域対話の実施 ● 工場見学会の実施 	A A A
グループ会社への レスポンシブル・ケアの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● レスponsible・ケア活動の普及推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 保安・環境・品質監査の実施 ● メールマガジン等によるレスポンシブル・ケア関連情報の共有化 ● 海外の化学品規制への対応検討 	A A A

* JIPS : Japan Initiative of Product Stewardshipの略、日本化学工業会が推進する化学品管理自主活動。化学物質(製品)の有害危険性の情報を収集し、解析した上で、使用・用途の情報をあわせてリスク評価(暴露量と安全量の比較)を行う。そのリスク評価の結果に基づき、作業安全や消費者保護および環境影響の低減のため適切な管理を行い、その結果をサプライチェーンおよび社会一般に公開する活動。